

農業技術交流に感謝

丸森町耕野地区で行われているの事業は本年度が最終年度とな
アフリカ・ザンビアの農業技術研 修生との交流活動に関する報告会
が8日、同町丸森まちづくりセン
ターであった。ザンビアの首都ル
サカ市があるルサカ州のパスカル
・チパシャ農業局長ら3人が訪
る。 事業は本年度が最終年度とな
る。

チパシャ局長は「化学肥料が買
えない小規模農家にとって、堆肥
作りの技術が役立つている。以前
は個人主義だったのが、村の協働
意識が芽生えたことも大きい」と

ザンビア・州局長ら丸森で報告会

「村に協働意識芽生える」

れ、交流への感謝を伝えた。

成果を述べた。

耕野振興会が町と共同で20
16年度から、国際協力機構（J
ICA）の事業を活用して交流
を実施。3年間で、ルサカ州内の
農業技術指導員ら計15人が耕野を
中心に町内で研修した。JICA
振興会総務部長でプロジェクト
マネジャーの養蜂業石塚武夫さ
ん(47)は「人と人の触れ合いと交
流が町全体に広がった。オンリー
ワンの地域おこし活動として続け
ていきたい」と話した。



農業研修を通じた交流に感謝するチパシャ局長（左）ら